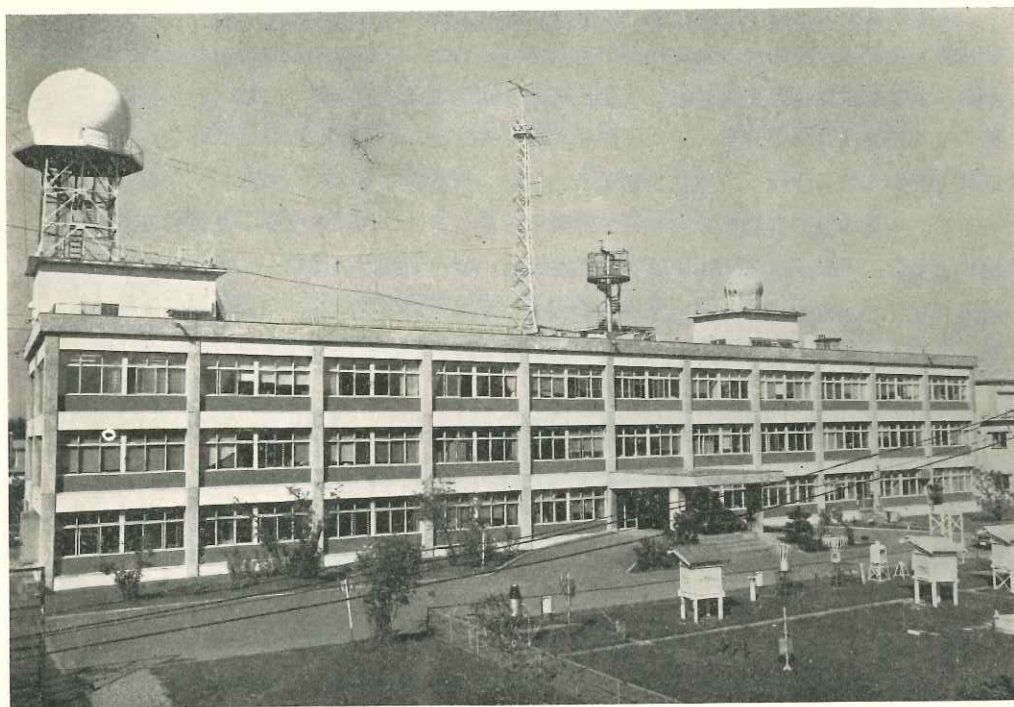


# 札幌気象百年史

1876~1976



札幌管区气象台庁舎全景

## 序

札幌農学第1年報の札幌観像報文に「観台の事業は1876年（明治9年）9月1日より……創起せり。故に……其時を以て起頭と為せり」とあります。この年を起年として今年はちょうど100年目にあたります。

北海道の気象業務については、もともと明治二年開拓使が設置された頃よりその必要性は徐々に認識され始めましたが、これら観測開始の当初は紹へい外人の助けを受けたものであります。しかしながらその後開拓使の組織変更があって若干の所属異動はあったものの、いわゆる気象業務として体系化されたのは札幌の場合明治9年となっております。

さらにその後、明治15年開拓使廃止に伴う北海道三県分割化や明治16年の測候所という名称の使用、また道内各地に測候所を新設するなど、明治時代は気象業務の台頭期とも言える時期であったと思います。大正時代にはいり測候所の数も道内8か所と増え、徐々に充実されてきております。さらに昭和年代となって13年には道内測候所は全面的に国営移管となり、現在の飛躍的發展への基盤が確立されたのであります。その後、いわゆる戦時色に塗られた国情に対応し、かずかずの変遷を経ながらも気象業務の充実を期待する社会情勢にこたえ、各種予警報の系統化など着実にその歩みをすすめてきました。

第2次大戦後、一時期には経済不安、食糧状況の緊迫など国民おしなべて直面した社会環境下においても新しい国造りのための気象資料収集の重要性、必要性はとみに高まり、さらにまた、急速な発展をしつつある近代科学の積極的とり入れと相まって防災、民生協力面への参加となり、今日に至っております。

この間の科学的業績についても、戦前戦後を通じて「海氷関係」、「農業気象」、「長期予報」、「霧の調査」、「地震・火山」、「気候調査」、「現象調査」、「測器開発」などなど各分野を通じ北海道ならではの各種のすぐれた調査論文が見うけられております。

私共はここで、過ぎし日の諸先輩各位の培われた偉業と苦闘の跡をしのぶことに深い意義を見いだしたいと思えます。

昨年、この年を価値あるものにするための企画が提唱され、その一環としての札幌気象百年史の発刊が計画されたのですが、担当部会の努力もあって、短時日にもかかわらず本史の刊行にこぎつけることができました。これは、ほぼ全国に亘る人々からの好意ある貴重な資料提供、さらに本庁図書資料管理室の各種便宜供与、あるいは制約ある予算の中から暖かい対処をして下さった本庁関係課の御配慮など、善意のみに満ちた御援助があってこそその成果でもあり、ここに厚く感謝の意を表します。

昭和51年9月1日

札幌管区気象台長

伊 藤 宏

## 目 次

1. 概 説
  - 1.1 北海道庁時代まで
  - 1.2 中央气象台時代
  - 1.3 気象庁時代
2. 創立以前
3. 組織・制度
  - 3.1 開拓使時代
  - 3.2 三県時代
  - 3.3 北海道庁時代
  - 3.4 中央气象台時代
  - 3.5 気象庁時代
4. 人 事
  - 4.1 一 般
  - 4.2 歴代の官署長とその在任期間
  - 4.3 ホイラー、豊蔵鎌吾その他の人々
5. 位置と財産
6. 会 計
7. 気象観測
  - 7.1 地上気象観測
  - 7.2 統計報告と資料
  - 7.3 観測所観測
  - 7.4 生物季節観測
  - 7.5 山岳気象観測
  - 7.6 放射能観測
  - 7.7 沿岸、潮汐観測
  - 7.8 レーダー気象観測
8. 測器検定
  - 8.1 札幌測候所時代
  - 8.2 札幌における測器検定
  - 8.3 気象業務法制定以降
  - 8.4 測器の変遷と新型測器の導入
9. 地震・火山
  - 9.1 地 震
  - 9.2 津 波
  - 9.3 火 山
10. 高層気象観測
  - 10.1 まえがき
  - 10.2 昭和20年（終戦）までの測風気球観測
  - 10.3 戦後の上層風観測
  - 10.4 GMD-1 およびD55の導入
  - 10.5 終戦までのラジオゾンデ観測
  - 10.6 戦後のラジオゾンデ観測
  - 10.7 GMD-1 導入後のラジオゾンデ観測
  - 10.8 特殊ゾンデ
  - 10.9 大気オゾン観測
11. 天気予報
  - 11.1 警報および信号業務
  - 11.2 天気予報
  - 11.3 各種通報
  - 11.4 長期予報
12. 海 氷
13. 航空気象
  - 13.1 中央气象台札幌飛行場出張所
  - 13.2 札幌航空気象観測所
  - 13.3 戦後の航空気象
14. 通 信
  - 14.1 開拓使および三県時代
  - 14.2 北海道庁時代
  - 14.3 中央气象台時代
  - 14.4 気象庁時代
  - 14.5 気象通信近代化の歩み
15. 災 害
  - 15.1 気象の部
  - 15.2 地震・津波・火山の部
16. 調査・研究
  - 16.1 北海道庁時代から昭和初期まで
  - 16.2 第2次世界大戦以後
17. 刊行物
  - 17.1 観測資料を主とした刊行物
  - 17.2 調査・研究を主とした刊行物
  - 17.3 業務上の知識・技術交換を主とした刊行物
  - 17.4 異常気象関係の報告物
18. 産業気象研究所
  - 18.1 設立から廃止までの経緯
  - 18.2 札幌管区气象台美瑛産業気象研究所
  - 18.3 札幌管区气象台岩見沢産業気象研究所
19. 千島における気象業務
  - 19.1 測候所設立以前
  - 19.2 紗那測候所
  - 19.3 幌筵測候所
  - 19.4 管内観測所その他
20. 労働組合